

うちよせる波

手に持ったサンダル
鼻緒で痛くなり

陽がかげった海岸
ネイビーのラッシュガード

よせては返す波の音聞きながら
昔の歌口ずさみ足元濡らして

踏みしめた砂が
波に溶けてなくなる

その瞬間の刺激
心地よいマッサージ

思い出す歌のなか
情景がよみがえる

砂に書いた文字が
消えること歌ってた

明日は離れ離れになるさみしさ
その気持ち共感できるこのシチュエーション

時折ふく風が
波ですずしくなる

その瞬間の癒し
疲れも忘れて